

# 雇用をしないプロフェッショナル人材の活用 専門人材獲得への取り組み事例

「みらい」を見据えた  
成長を続ける企業へ

今後の同社は、従業員のモチベ

## サーキュレーションのプロジェアリング(プロ人材活用サービス)の強み

- 多様な分野のプロ人材を1日2時間~週5日で活用可能
- 相談の翌週から活用可能 ■中透採用よりコストを抑えられる
- 20,000人を超えるプロ人材と12,000件を超えるプロジェクトの実績からデータベースを構築しておりニーズに沿った人材を推薦



プロジェアリングについて詳しくはこちら

### ■プロ人材：坂根 佑一

私は医療介護保育分野を中心とした人材採用のアドバイザーを行っています。みらいメデイクス様からは専門人材採用の相談があり、採用の仕組み化と内製化を最終目標に設定して二人三脚で課題解決に取り組んでいました。

具体的な取り組みとして、採用活動の現状を可視化し、事業に基づいた評価と伸びしろの特定、改善施策を2週間サイクルで必ず提示しました。その際、進捗に留まらず一層の件数を動かさず、人材の過不足や緊急度に応じて臨機応変に対応していくことで、お互いの理想とする結果に繋がっていました。

本件ではみらいメデイクス様が、当事者意識をもって数々の新しい挑戦に果敢に挑み続ける姿勢があったからこそ、一定の成果が表れたのだと認識しております。今後も同社のますますのご活躍を祈念しております。

### ■取引店：福岡銀行 原支店 担当行員：田中副調査役(現・FFGビジネスコンサルティング出向)

近年、お取引先様の課題は多様化しています。今年度の専門人材不足に関する課題についても、社長と面談した際、向察ない会話の中から課題が見つかり、みらいメデイクス様のニーズにプロ人材のご提案がマッチアップしました。

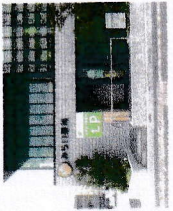
社長や部長から各層で求人は出しているという話は聞いていたのですが、何か新しい視点で課題(人材不足)に取り組みたいかと考え、プロ人材という選択肢を提案しました。

今回はデータを可視化して改善していくアプローチ方法がマッチングの決め手となり、結果として人材課題に対する成果を確しています。

お取引先様で抱えている課題があれば、様々なニーズを解決できる専門知識を持ったプロ人材の活用をご検討してみたいかでしょうか。

## 株式会社 みらいメデイクス

- 代表者 二本木 恵右
- 本社所在地 福岡市早良区原5丁目2-20-1
- 設立/2015年 ■資本金/1,000万円



株式会社FFGビジネスコンサルティング ビジネスサポート部 人材紹介グループ  
TEL092-723-2224 受付時間/平日9:00~17:00 担当/須須

お問い合わせ

FFGビジネスコンサルティングでは、FFGのお取引先企業様の人材紹介だけでなく、様々な人材ソリューションを提供しています。

労働人口の減少と東京への一極集中の最中により、人材に関する相談の件数が増加しています。

中でも、即戦力となる専門性を備えた人材を採用し、組織を強化したいが、専門知識を持った人材がおらず、着手できないといった悩みが多くあります。今回は、専門知識を持った「プロ人材」を活用し、事業課題を解決したお取引先様の事例を紹介します。

### 事業展開を進めていく中で生じていた 人材不足の課題

福岡市早良区に本社を構える「株式会社みらいメデイクス(代表取締役社長：二本木 恵右氏)」では、調剤薬局事業と福祉事業、保育園事業を展開し、薬局事業と福祉事業の連携により地域に寄り添った事業を展開しています。

2015年に設立以来同社は、調剤薬局事業を展開してきましたが、度重なる法改正により、調剤薬局事業一本で事業を展開するのは成長に限界があると感じていました。

今後の事業の成長を考えていたときに、児童福祉法の一部が改正されたことを皮切りにして、放課後等デイサービスなどの障害福祉事業に参入し、調剤薬局事業の医療を活かした地域への貢献活動に取り組むことを決意しました。

ここで課題として生じたのが、専門職の人材をどのように採用しているかという点です。

同社が様々な方法を検討していく中で福岡銀行に相談があり、業務提携先の株式会社サークレシオンを紹介することで、課題解決のための専門知識を持ったプロ人材を活用することになりました。

### プロ人材の専門知識を活かした 人材採用へのアプローチ

現状の人材採用への取り組みに対し、プロ人材からは、求人サイトの拡大やSNSの活用についての提案がありました。ここで重要なのが、ITを駆使して、アクセス数などのデータ数値の可視化による分析をおこない、月2回のフィードバックによって、アプローチの方法を改善しながら求人への関心を広げていったことです。

結果として、アクセス数などの数値の上昇に伴い、月平均4件だった応募が16件に増加し、専門職の人材採用に繋がっています。

さらにプロ人材の専門知識を社員が吸収できたことが大きな取組となっています。今後同様の課題が発生したときに、身に付けた知識やデータ分析を用いて課題解決へのアプローチができるといった点が、同社の資産となっています。